

小林直樹 (1892-1951) 憲法學者。大正十年十月二日長野縣生れ（二九二一）。

昭和二十一年東京帝國大學法學部政治學科卒。二十六年東大教授、五十七年直修大學教授。護憲派の論客。

著書『危機はここから来る』（合著・吉野源二郎編、昭和二十九年二月、千日堂書店）、『選挙』

（藤原和正共著、昭和二十五年十一月、千日堂書店）、『選挙』

（藤原和正共著、昭和二十五年十一月、千日堂書店）、『日本における憲法動態の分析』

（昭和二十八年十一月、千日堂書店）、『日本国憲法の問題状況』

（昭和二十九年六月、千日堂書店）、『憲法を説く』

（昭和四十一年四月、千日堂書店）、『岩波新書』

、『日本史への証言』（合著、昭和四十二年二月、千日堂書店編刊）、『日本人の憲法意識』

（編、昭和四十三年二月、千日堂書店出版会）、『現代基本権の展開』

（昭和五十一年十一月、千日堂書店）、『憲法第九条』

（昭和五十七年八月、千日堂書店）、『岩波新書』

』等。